

2022年3月吉日

一般社団法人
ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会
(ASPIC)
会長 河合輝欣

日本クラウド産業協会への名称変更のお知らせ

令和4年4月1日より、一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会（略称:ASPIC 会長:河合輝欣）は法人名称の変更を行います。

《変更後の名称》

名 称:一般社団法人日本クラウド産業協会
英文名称: Japan Cloud Industry Association
代 表: 河合 輝欣 (会長)

これまで略称として使用してきました「ASPIC」は、呼称として引き続き使用いたしますので、よろしくお願いいたします。

ASPIC はクラウドサービス(ASP)の黎明期である 1999 年に、業界唯一の団体として創立し、以来、22年にわたり、「ASP・SaaS・クラウドの普及促進と市場の拡大」及び「安心・安全なクラウドサービスの実現」を2大目標として事業を展開してまいりました。これも偏に総務省、経済産業省をはじめ関係者の皆様の厚い御指導、御支援の賜物と改めて御礼申し上げます。

この 22年で、クラウドが、社会のインフラとして、定着してきました。更に現在、進行中の、第四次産業革命において、クラウドを基盤とした AI、ビッグデータ、IoT、ロボット等のイノベーションにより、様々な社会課題が解決され、社会の有り様を一変させる Society5.0が、実現されていきます。(我が国の未来を築く成長戦略)正にクラウド産業が Society5.0を支える社会インフラなっています。

このような環境の中、ASPIC創立以来22年の事業活動の実績をもとに、第二の創業期と位置付け、AI・IoT 分野への事業内容の充実、拡大を図り、クラウド産業業界の一層の拡大、発展、クラウド市場の創造、情報基盤の確立、企業の生産性向上に寄与し、持続可能な豊かな社会の実現と国際社会に貢献していきます。ASPIC は、Society5.0の実現に貢献し、より一層存在感のある法人としていきます。

今後とも、引き続き ASPIC へのご指導、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

以上

☛ 別紙1:ASPIC 活動年表、別紙 2:ASPIC の活動概要

《4月1日以降のお問い合わせ先》

一般社団法人日本クラウド産業協会(ASPIC)
会長:河合 輝欣 事務局:高橋、矢嶋
E-mail: office@aspicjapan.org
TEL: 03-6662-6591 / FAX:03-6662-6347
URL: <https://www.aspicjapan.org/>

別紙1

ASPICの活動年表

1999年	11月	任意団体「ASP インダストリ・コンソーシアム・ジャパン」創立(創立メンバー85社)
2000年	10月	ASPIC のミーティング開催(以降年2回開催)
2002年	2月	特定非営利活動法人(NPO)の認証取得
2003年	3月	総務省「公共 IT におけるアウトソーシングに関するガイドライン」公表(ASPIC 作成協力)
2003年	4月	「2003 年版 ASP 白書」作成・出版(2004 年、2005 年白書作成)
2007年	2月	国内初の「第1回 ASP・SaaS クラウドアワード」開催(以降 15 回開催)
2007年	4月	総務省と合同で「ASP・SaaS 普及促進協議会」設立(以降 28 回の委員会を開催) (ASP・SaaS の普及促進施策の展開)
2007年	8月	河合会長が総務省情報通信審議会専門委員に任命(~2009 年1月)
2008年	1月	総務省「ASP・SaaS における情報セキュリティ対策ガイドライン」公表 (以降、ASP・SaaS 普及促進協議会で 28 のガイドライン、情報開示指針を策定)
2008年	3月	法人名称変更「特定非営利活動法人 ASP・SaaS インダストリ・コンソーシアム」(SaaS を付与)
2008年	4月	「ASP・SaaS 安全・信頼性情報開示認定制度」の創設 (認定機関:一般財団法人マルチメディア振興センター(FMMC)、認定実務:ASPIC)
2008年	5月	「ASP・SaaS イノベーションシンポジウム」開催(以降7回開催)
2008年	6月	平成 20 年度「電波の日・情報通信月間」にて ASPIC が団体として「総務大臣表彰」受賞 (ASP・SaaS の利活用、情報開示指針の策定並びに ASP・SaaS の普及促進策で情報通信の発展に多大に貢献)
2009年	2月	総務省と連携して「ASP・SaaS データセンター促進協議会」設立 (データセンタの発展、利用拡大策)
2009年	8月	「ASP・SaaS 白書 2009/2010」作成・出版
2010年	3月	ユビキタス特区事業(ASP・SaaS を活用した地域医療、連携プラットフォームの事業化の実証実験)
2011年	9月	法人名称変更「特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム」(クラウドを付与)
2012年	6月	平成 24 年度「電波の日・情報通信月間」にて河合会長が個人として「総務大臣表彰」受賞 (ガイドラインの策定並びに情報通信の利活用の推進)
2012年	8月	「IaaS・PaaS の安全・信頼性情報開示認定制度」及び「データセンターの安全・信頼性情報開示認定制度」の新設
2013年	1月	ミッション・ビジョン策定
2015年	10月	ASPIC15 年史発行
2016年	8月	法人名称変更「特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウドコンソーシアム」(IoT を付与)
2017年	8月	総務省 IoT サービス創出支援実証事業への参画 (IoT、AI を駆使した認知症対応型実証事業)
2017年	10月	ASP・SaaS 情報開示認定サービスの高度化開始
2017年	10月	「医療情報 ASP・SaaS」、「特定個人情報 ASP・SaaS」に係る情報開示認定制度 新設 クラウドサービス情報開示認定機関として運営(FMMC から ASPIC へ移管)
2018年	7月	クラウドサービス提供における情報セキュリティガイドラインの改訂 (IoT クラウドサービスのリスク対応方針の策定)
2018年	10月	総務省 地域 IoT 実装事業への参画 (ビッグデータ活用による認知症対応型 IoT サービス)
2018年	12月	「IoT クラウドサービスの情報開示認定制度」の新設
2019年	4月	クラウドサービス紹介サービス「アスピック」の運用開始
2020年	4月	一般社団法人化及び法人名称変更「一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会」(AI を付与)
2022年	4月	法人名称変更「一般社団法人日本クラウド産業協会(ASPIC)」
2022年	4月	「AIクラウドサービスの情報開示認定制度」の新設

1. ASP・SaaS・クラウドの認知度の向上

- ① フォーラム(7回)、セミナー(31回)の開催とASP・SaaSクラウド白書(4冊)、ASP構築ガイド等、刊行物の発行等を行い、「所有から利用」につながるASP・SaaSクラウドの認知を図った
- ② ASP・SaaSクラウドの体系図の策定

2. ASP・SaaS・クラウドの市場の創成・拡大

- ① ASPICのクラウド研究会で新たなるサービス、技術への共通課題事例の抽出を行い、会員ビジネスへのフィードバックを行うと共に、研究成果を国、自治体の政策やクラウドの導入ガイドライン等への提案を行った。
- ② 総務省、経済産業省等国の進めるクラウド導入の「クラウドサービスの安全性評価に関する検討会」に委員として参加し、クラウド導入、促進に寄与した。

3. クラウドサービスの安心安全の推進

- ① 総務省とASPIC合同の「ASP・SaaSクラウド普及促進協議会」並びに総務省と連携した「データセンター協議会」を立ち上げた。
- ② 協議会の委員会(28回開催)で大学、クラウド事業者、有識者等の参画を得て、クラウド事業者向け、クラウド利用者向けにクラウド共通分野/医療、自治体などの分野毎の31のガイドライン・情報開示指針を策定した。
- ③ クラウドサービスの情報開示指針を策定し、クラウドサービスの情報開示認定制度の検討し、ASP・SaaS、医療情報 ASP・SaaS、特定個人情報 ASP・SaaS、ASP・SaaS(IoTクラウドサービス)、IaaS・PaaS、IaaS・PaaS(IoTクラウドサービス)、データセンターの7制度を立ち上げた。これまでに認定されたサービスの総数は293サービス、199事業者に上る。
- ③ これらにより、1)クラウドサービスの安心・安全な提供に寄与し、2)ガイドラインにより医療情報の外部保存が可能となり、市場拡大が図れ、3)情報セキュリティ対策ガイドラインに準じたクラウドサービス情報開示認定制度の立ち上げ等により、安心・安全なクラウドサービスの推進を行った。
- ⑤ これらの活動に対して、2008年にASPICが団体として、2012年に河合会長が個人として情報通信月間に総務大臣表彰を受賞した。

4. クラウド事業者へのビジネス支援

クラウド事業者のビジネス推進・拡大に貢献した。

- ① ASPIC IoT・AI・クラウドアワードの開催(15年間で1251エントリー、653サービス表彰、最優秀賞は総務大臣表彰)
- ② 分野別クラウド研究会(年間約20回、毎年700~800人が参加)
- ③ クラウド関連の情報提供(年間約100回)
- ④ クラウド ビジネス交流会、会員交流会等の実施
- ⑤ クラウドサービス事業者の採用活動を支援

5. クラウド利用者向けのクラウドサービス紹介事業

ASPICのこれまでの知見などから利用者に対しクラウドサービスの紹介を行うことにより、利用者増、市場の拡大を推進し、クラウド事業者のビジネスを支援した。

6. IoT、A I、クラウドサービスの市場の創造

会員企業と共同で、IoT・AIを駆使した認知症対応型実証、ビッグデータ活用による認知症対応型IoTサービス実装事業に応募し、認知症患者のBPSDの発症を削減する社会的な課題に取り組み、IoT、AIクラウドサービス市場の創造を推進した。

以上